

南アメリカ・オセアニア州

名前

- 問1 南アメリカ大陸の南東部、ラプラタ川流域からアルゼンチン中部にかけて広がる広大な温帯草原について、その名称と産業の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. カンボ — コーヒーやサトウキビの栽培が中心である。 | 2. セルバー — 天然ゴムの採取や木材の切り出しが行われる。 | 3. パンバー — 小麦の栽培や牛の牧畜が盛んである。 | 4. リャノ — オリノコ川流域で大規模な米作りが行われる。 |
|-------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
- 問2 オーストラリアでは茶の生産はあまり行われていませんが、日常生活の中で紅茶を好んで飲む文化が広く定着しています。このように、オーストラリアの食文化に大きな影響を与え、かつてこの地を植民地として支配していた国はどこですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. アメリカ合衆国 | 2. オランダ | 3. フランス | 4. イギリス |
|------------|---------|---------|---------|
- 問3 世界有数の農業国であるブラジルでは、サトウキビなどの農作物を原料とした燃料の利用が拡大しています。石油などの化石燃料の代替として注目されている、このエネルギー資源の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|----------|---------|
| 1. 液化石油ガス | 2. シェールガス | 3. バイオ燃料 | 4. 天然ガス |
|-----------|-----------|----------|---------|
- 問4 世界地図において、経緯度を用いたブラジルの首都の所在地に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 北緯15度付近、西経50度付近に位置している | 2. 南緯15度付近、東経50度付近に位置している | 3. 北緯15度付近、東経50度付近に位置している | 4. 南緯15度付近、西経50度付近に位置している |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問5 南アメリカ大陸に位置するブラジルでは、サトウキビなどの植物資源を原料とした燃料の生産が盛んであり、多くの自動車で利用されています。このように、石油などの化石燃料の代替として注目されている、生物資源から作られる燃料を何と呼びますか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. バイオ燃料 | 2. シェールガス | 3. 天然ガス | 4. 化石燃料 |
|----------|-----------|---------|---------|
- 問6 世界を6つの州に区分した際、本初子午線（経度0度）から東側に進んだ東経110度から150度付近の南半球に位置する大陸と、その周辺の島々から構成される州の名称として正しいものを次から選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. アフリカ州 | 3. 南アメリカ州 | 4. オセアニア州 |
|---------|----------|-----------|-----------|
- 問7 オーストラリアは、石炭や液化天然ガス（LNG）などのエネルギー資源を豊富に産出しています。ある統計において、オーストラリアのエネルギー自給率が304.3%という極めて高い数値を示している理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 製造業がほとんど存在しないため、国内でエネルギーを消費する必要が全くないため | 2. 広大な国土を活かした太陽光発電や風力発電だけで、国内の全エネルギーをまかなっているため | 3. 国内の人口が極めて少ないため、エネルギー資源の採掘そのものを厳しく制限しているため | 4. 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため |
|---|--|--|---|
- 問8 世界の鉱産資源の産出統計において、オーストラリアが全体の産出割合の3割を超え、ブラジルが約2割を占め、これに中国やインドが続く資源があります。この資源が、地殻変動が少なく古い地層が広がる「安定陸塊」で多く産出される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 数億年前の森林地帯が地中に埋まって炭化し、なだらかな山脈が広がる古期造山帯において、地表近くに露出したため。 | 2. 広大な砂漠地帯において、急激な乾燥によって地中の水分が蒸発し、残された鉱物成分が結晶化して地表に堆積したため | 3. プレーートの境界付近で火山活動が活発に起こり、マグマに含まれる金属成分が冷えて固まることで形成されたため。 | 4. 数十億年前の海底で、海水中の鉄分が酸素と結合して大規模に堆積した層が、激しい地殻変動を受けずに保存されたため。 |
|---|---|--|--|
- 問9 世界の食料生産に関する統計において、牛肉の生産量ではアメリカやブラジル、中国が上位を占め、輸出量ではブラジルやオーストラリアが上位となっています。このような国際的な競争の中で、アルゼンチンが行っている牛肉生産の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地中海性気候を活かして、オリーブなどの果樹栽培の裏作として肉牛を飼育している。 | 2. パンバと呼ばれる広大な草原を基盤に、大規模な放牧や肥育場での効率的な飼育を行っている。 | 3. 熱帯雨林であるセルバを切り拓き、焼畑農業の跡地を利用して伝統的な遊牧を続けている。 | 4. アンデス山脈の傾斜地を利用し、リャマやアルパカと組み合わせた小規模な家畜飼育に特化している。 |
|--|--|--|---|
- 問10 オーストラリアが、かつてのヨーロッパを中心とした政策から方向転換し、アジア諸国との結びつきを強めるようになった背景や影響の説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. かつての白豪主義を撤廃したこととで地理的に近いアジア地域からの移民が増加し、資源や農産物の主要な貿易相手国もアジア諸国へとシフトしたため。 | 2. イギリスとの経済協定が解約されたことを受けて、ヨーロッパからの移民を禁止し、鉱物資源の輸出先を限定したため。 | 3. アジア諸国の急速な人口減少を補うため、オーストラリア側がアジア全域からの受け入れを国策として義務づけたため。 | 4. ヨーロッパ諸国との地理的距離が遠いために物流が完全に途絶え、強制的にアジア諸国との貿易のみを行わざるを得なくなったため。 |
|--|---|---|---|
- 問11 2020年の統計において、世界の州別の面積と人口の割合を比較すると、陸地面積は全体の約6.5%を占めている一方で、人口の割合は約0.6%と、世界の州の中で最も低くなっている州があります。この州の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 南アメリカ州 | 2. オセアニア州 | 3. アフリカ州 | 4. ヨーロッパ州 |
|-----------|-----------|----------|-----------|
- 問12 オーストラリアがかつての白豪主義を廃止し、多文化社会の形成を進めるようになった背景や目的に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. ヨーロッパ諸国との貿易額が大幅に増加したため、白人を優先する伝統的な方針をより強化して継続するため。 | 2. アジア諸国との経済的な結びつきが深まる中で労働力を確保し、多様な背景を持つ人々が互いの民族や文化を尊重して共存する必要性が高まったため。 | 3. 国内の単一民族としてのまとまりを強化するため、すべての移民に対してオーストラリアの伝統文化への同化を義務付けたため。 | 4. アジア系移民の急増に伴い、オーストラリア固有の言語と文化を廃止して新しい単一文化を創出するため。 |
|---|---|---|---|